

き ず な  
代 表 質 問

議会事務局  
処 理 欄

令和5年11月14日 14時18分 受付  
質 問 順 位 第 1 番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 石川 喜次

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和5年4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 第6次武豊町総合計画の推進について	<p>【趣旨説明】</p> <p>令和3年度から第6次の武豊町の総合計画がスタートし、2年半が経過した。この総合計画は、町民にとっても大変重要な計画である。また、靄山町長が、町民や各種団体の皆様のご協力のもと、自らの手で策定した肝入りの計画と考える。</p> <p>本町の総合計画は、今後の人口減少、少子高齢化の進行を見据え、複雑化・高度化する地域課題、行政課題を的確に捉え、将来世代にも責任の持てる持続可能な町を築いていくため、これまでに培ったまちづくりを継承しつつ、未来に向けて発展し続けていく魅力的なまちづくりを、町民や民間など多様な主体と行政が協働で進めていくことが求められる中で、令和3年度から第6次の計画がスタートした。</p> <p>そして、実施計画も当初から3年目を迎え、収収の大幅な増加を見込み、修正を加えながら、着実に目標に向け各種施策の取り組みが進められている。そこで、以下質問をする。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 町長が将来に向け、特に力を入れていく取り組みについて伺う。</p> <p>② 第6次武豊町総合計画の「まちの将来像」に基づいた9つのまちづくりの目標に関するこれまでの取組状況と今後の進め方について伺う。</p> <p>1「定住先として選択されるまち」、2「安心して子どもを産み育てることができるまち」、3「楽しく学び、生き生きとした生活ができるまち」、4「人と人がつながり、お互いに支え合い、健康で安心して暮らせるまち」、5「災害に強く、安全・安心に暮らせるまち」、6「産業が維持・発展する活力あるまち」、7「環境にやさしいまち」、8「多様な主体が連携・協働するまち」、9「効率的で効果的な行政運営のまち」。</p>
2. 令和6年度予算編成方針について	<p>【趣旨説明】</p> <p>10月3日付で、職員に示された令和6年度予算編成方針によると、令和6年度の予算編成については、国の施策の動向を注視し、情報収集に努め、変化する社会情勢にも目配り、中長期的な財政見通しに立ち、第6次総合計画に掲げる施策をより一層の効率的・効果的に推進する。また、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつあるなか、さらに加速させる取り組みを進めるとともに、町政70周年の節目として、未来に向けた活力ある「新しい武豊」を生み出すための施策を推進するものとし、来年度の予算編成に当たったの思いを「伸」とされた。</p> <p>各種施策・事業の予算計上に当たっては、成果を検証した上で、必要性や緊急性など、さらに効率化を考慮し、「住みよいから、住みたいまち」、「子どもの学び、育ちを応援するまち」、「みんなが元気に活動・活躍するまち」の具現化のため、6点を基本方針として、財源の重点的配分と経費支出の効率化を図り、財源の確保に努め、予算編成に取り組むこととしている。そこで、以下質問をする。</p>

**【質問事項】**

- ① 来年度の予算編成に当たってのキーワードを「伸」とされた、町長の思いを伺う
- ② 令和6年度予算編成方針で示している基本方針6点の設定根拠を伺う。町民にアピールしておきたい特徴、財政面でお聞きをする。
- ③ 予算化に当たっては、事業の必要性や事業効果を十分考慮し、事業内容を精査の上、縮小、廃止も含め検討するものと示されているが、具体的なチェック方法について伺う。